



平成28年9月28日  
海上保安庁

## 夏季における海難発生状況（速報値） （8月1日から8月31日までの1ヶ月間）

### ～船舶事故は過去10年間で最少～

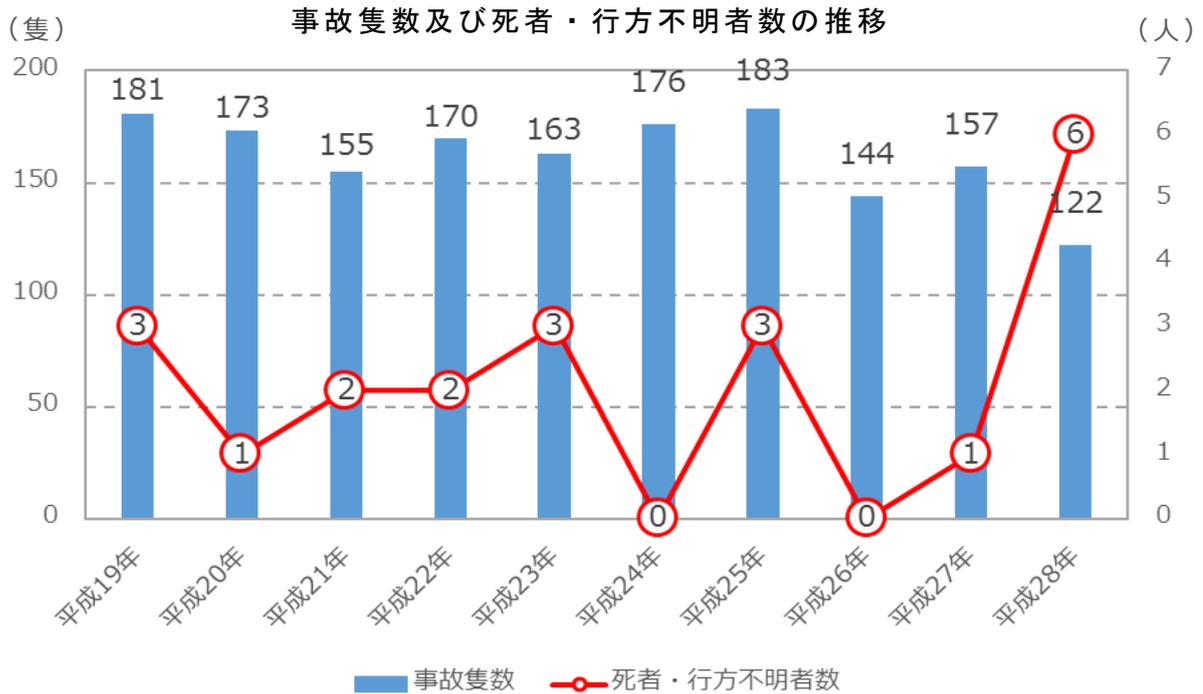
- プレジャーボート等の船舶事故隻数：122隻（昨年157隻）  
死者・行方不明者数：6人（昨年1人）
  - プレジャーボート等の船舶事故隻数は過去10年間で最少となっている。
  - 事故の種類別は機関故障の25隻が最も多く、このほかバッテリー過放電や燃料欠乏を含めると、出港前の点検で防止できた可能性のある事故は全体の約3割を占めている。
- 人身事故者数：295人（昨年260人）  
死者・行方不明者数：68人（昨年67人）
  - 遊泳中の事故が全体の約6割を占めている。
  - 遊泳中の事故者を年代別で見ると10代・20代で全体の約5割を占めている。

#### 【参考】夏季における海難の推移

		平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
船舶事故	プレジャーボート等の事故隻数（隻）	176	183	144	157	122
	死者・行方不明者数（人）	0	3	0	1	6
人身事故	マリンレジャー活動に伴う事故者数（人）	330	233	213	260	295
	死者・行方不明者数（人）	83	64	49	67	68

- ・「プレジャーボート等」とは、プレジャーボート（モーターボート、ヨット、水上オートバイ等）及び遊漁船をいいます。
- ・「マリンレジャー活動」とは、海水浴、釣り、潮干狩り、サーフィン、ボードセーリング、スキューバダイビング、バナナボート、ウェイクボード等の海浜における余暇活動をいいます。
- ・「船舶事故」とは、衝突、乗揚、転覆、浸水、爆発、火災、行方不明及び機関、推進器、舵等の損傷又は故障及びその他安全な運航が阻害された事態をいいます。
- ・「人身事故」とは、船舶事故によらないプレジャーボート等乗船中の事故及びマリンレジャー活動に伴う海浜事故をいいます。

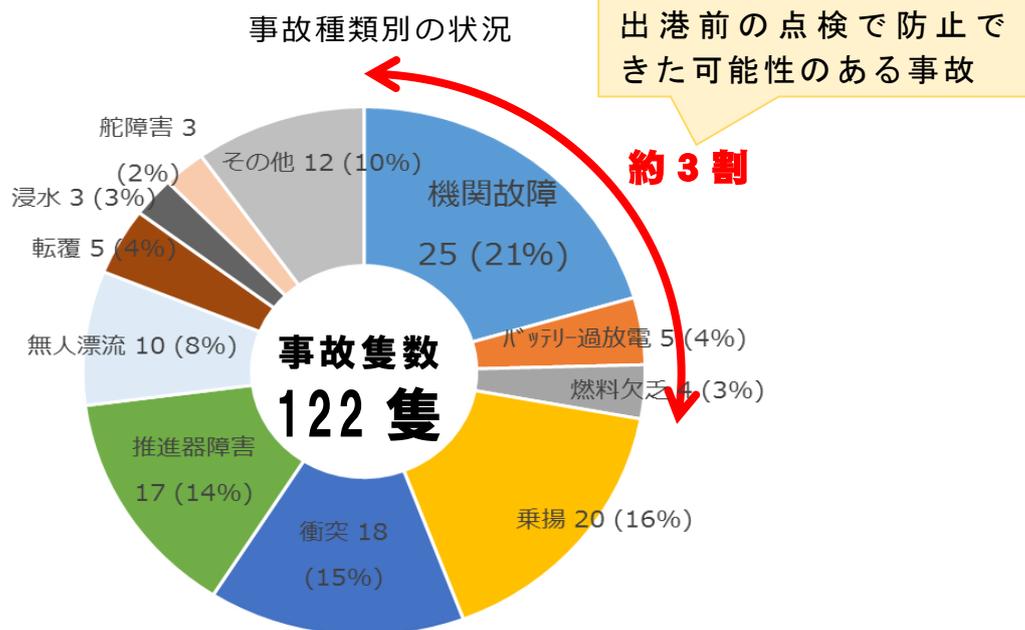
## 船舶事故の傾向



- プレジャーボートの事故が118隻、遊漁船の事故が4隻となっており、過去10年間で最少(122隻)
- 死者・行方不明者は昨年に比べ5名増加

※ 多数の死亡者が発生した船舶事故

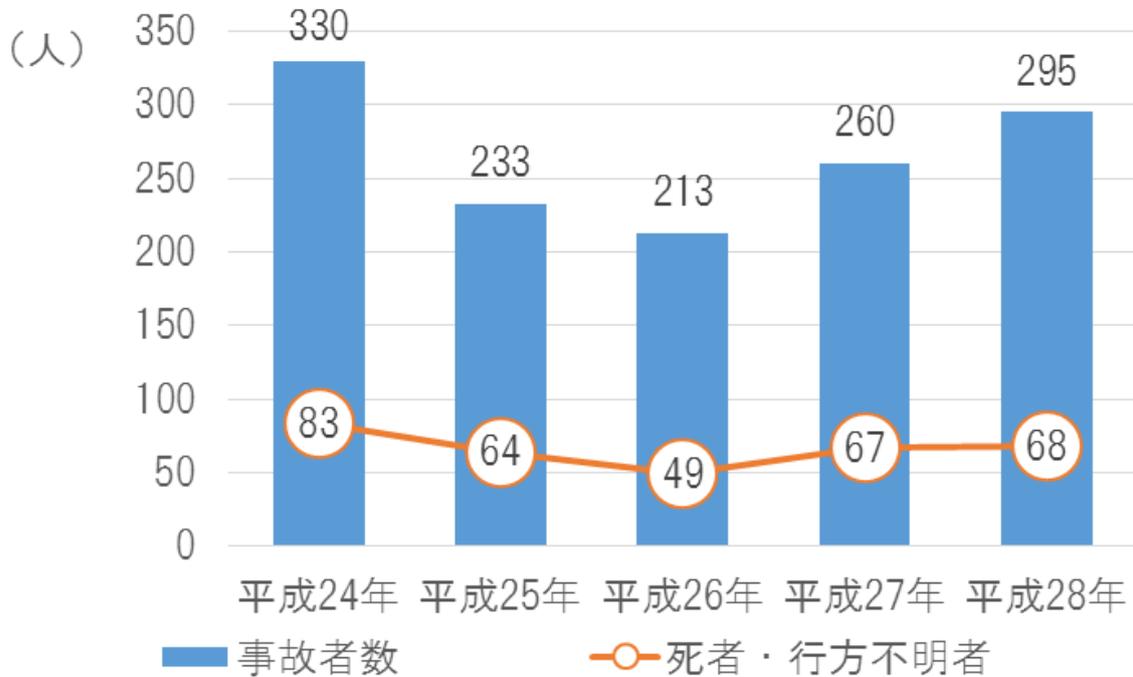
千葉県銚子市沖にて、釣り大会に参加していたプレジャーボート(19トン)は、「銚子マリーナに向う。」旨の無線通信を最後に連絡途絶となった。後に海上において、乗船者4名が心肺停止の状態で見つかり、船体の一部、救命浮環等が回収された。



- 事故種類は、機関故障、バッテリー過放電及び燃料欠乏が全体の約3割

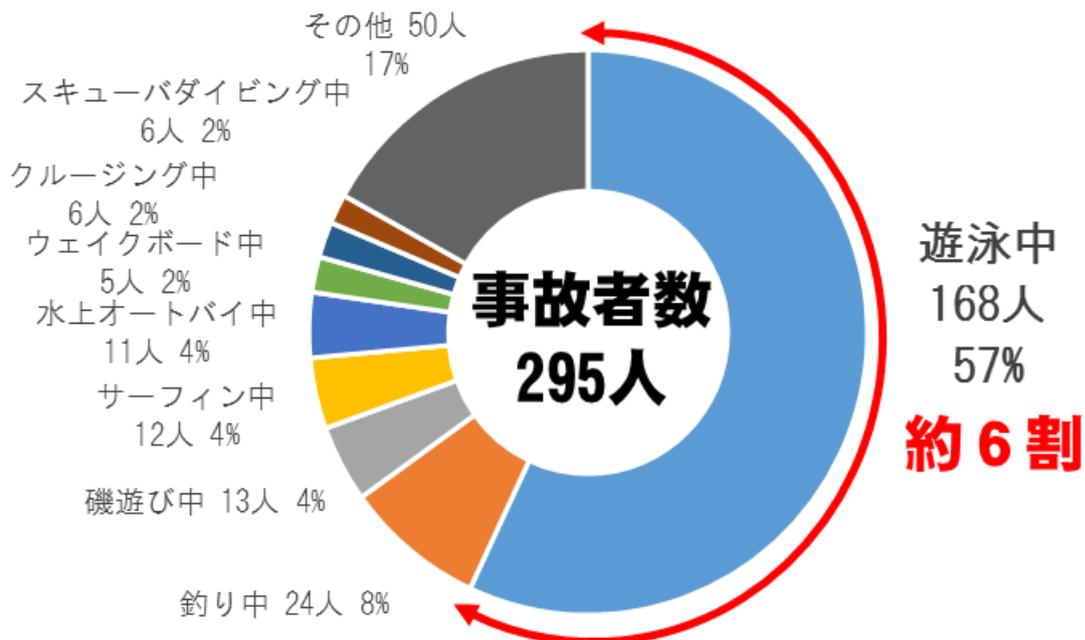
## 人身事故の傾向

人身事故者数及び死者・行方不明者数の推移



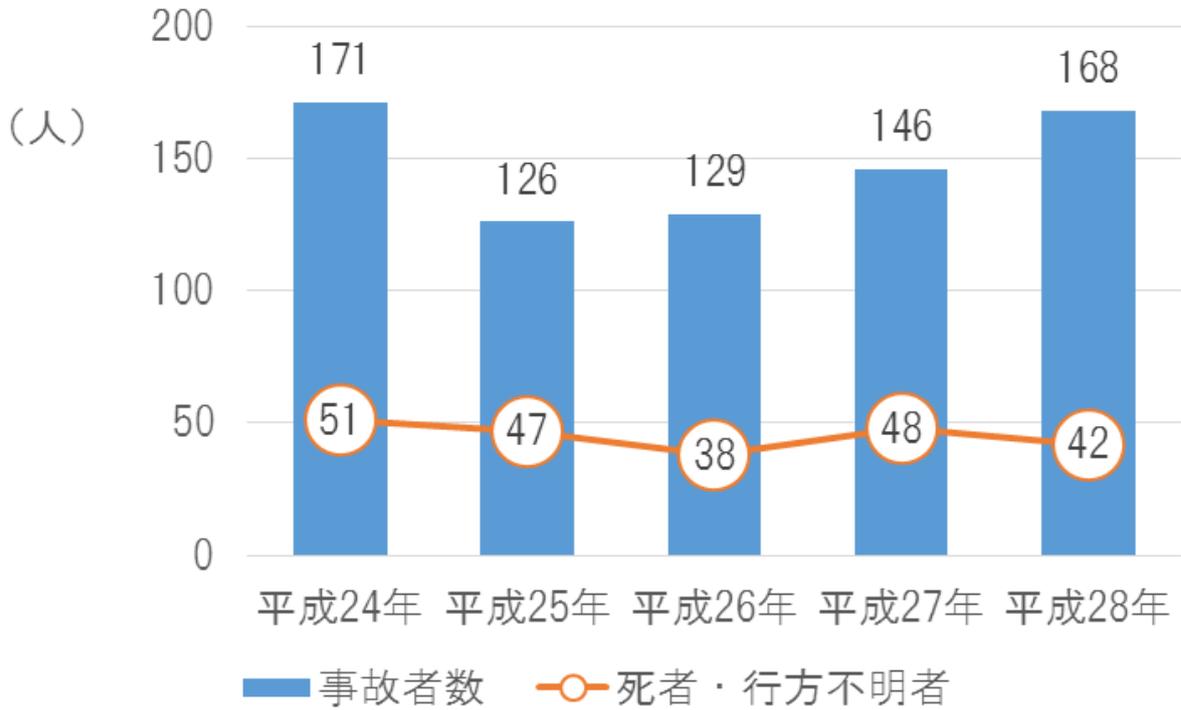
○事故者数が昨年から増加し、死者・行方不明者数は横ばい

【活動内容別】



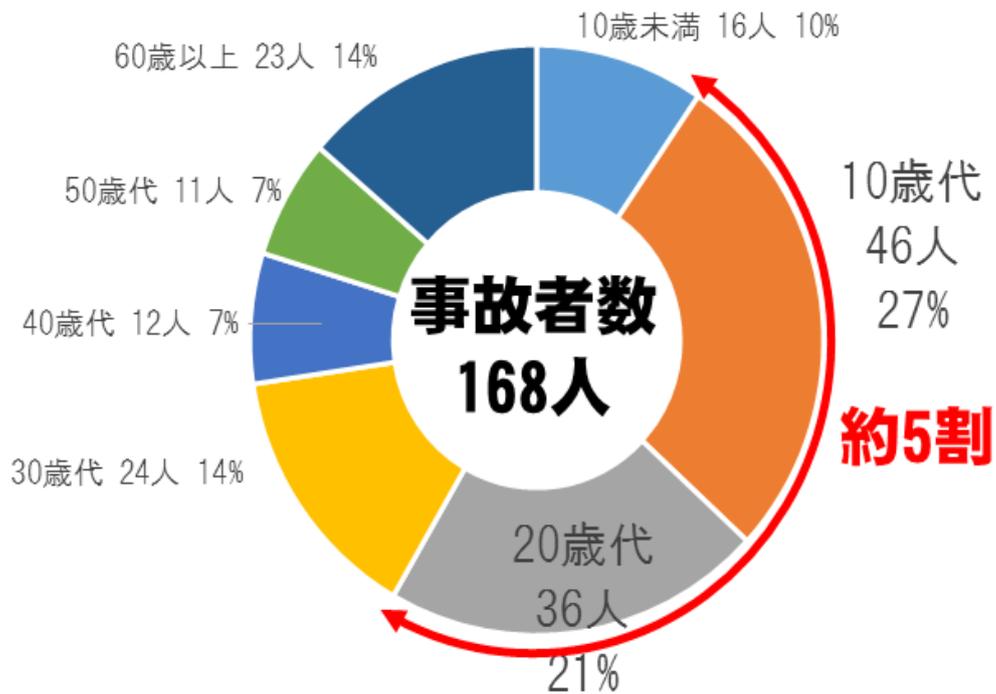
○活動内容別では遊泳中の事故が最も多く、全体の約6割

遊泳中の人身事故者数及び死者・行方不明者数の推移



○ 遊泳中の事故者数が昨年から増加

【年代別】



○ 年代別では10代・20代が最で全体の約5割